

特集

葉山で第一号！
「日影茶屋」が国の登録有形文化財に

～歴史的価値が高い

「客室棟」と「石蔵」～

江戸時代の創業から三五〇年の歴史を誇る鏡摺の日影茶屋。風格のある建物群のうち、本店の客室棟と石蔵がこのほど、葉山で初めて国の有形文化財に登録されました。「日影茶屋事件」の舞台となり、現在は日本料理店などとして、にぎわいを見せる老舗茶屋は、年輪を刻んだ重厚なたたずまいと歴史的景観を今に伝えていきます。



▲日影茶屋本店



▲昔の本店のようす

●歩み

日影茶屋は、江戸初期の寛文元年（一六六一年）に、堀内の現在地で創業したと言われています。ちょうど徳川四代将軍・家綱の時代で、初めは旅人にお茶や団子などを出して、ひと休みしてもらおう小さな茶店だったようです。

時が下り、明治の初期になると一時、「茶漬け茶屋」を営み、明治九年ごろからは旅館として宿泊客も扱うように



▲社長の角田晋之助さん

なりました。大正十二年には、改築工事によって客室棟が二階建てになり、宿泊客も増えたようです。

旅館としての日影茶屋が最もにぎわったのは、横須賀線に電車が走り始めた昭和の初め頃。夏になると、東京や横浜方面から大勢の海水浴客が葉山を訪れ、「うちの茶屋も、宿泊客でいっぱいだったと聞いています」（十一代目当主で、社長の角田晋之助さん）。

その後、昭和四〇年代には大改装工事に着手。調理場や店舗などがグリルに改修され、日影茶屋は雰囲気を大きく変えます。そして、これを機に明治時代から続いてきた旅館業を廃業し、新たに日本料理店へ衣替えしました。現在は日本料理店のほか、フランス料理のレストラン、和・洋菓子の製造・販売などを営む現代的な茶屋として、人気を集めています。

●登録・有形文化財

今回、葉山で第一号の国の登録有形文化財になったのは、日影茶屋本店のうち、客室棟と石蔵の二か所です。

「客室棟」は、大正十二年に建てられました。県道（海岸通り）に西面した南北棟と、これと北側で交わる東西棟から成ります。木造二階建てで、屋根は入母屋様式、棧瓦葺きです。

南北棟の正面玄関には、大きな車寄せが設けられ、どっしりとした風格が漂います。一階は十七畳と十四畳の座敷で、ふすまを開けると一間続きになり、大広間に変身します。また、ふすまの上には箆欄間を配しています。

二階は客室になっていて、立派な床の間や違い棚、透彫の欄間などが、旅館として栄えた当時の面影を今に伝えています。ただ、客室は現在ほとんど使われていません。

南北棟の中にある内蔵も魅力的です。太い柱に高い天井。今は昼間は和菓子販売、夜になるとバーに変身しますが、重厚な造りが独特の雰囲気をもし出しています。

一方、「石蔵」は客室棟の南隣にあります。木骨石造りの二階建てで、屋根は切妻様式、棧瓦葺きです。正確な建築年は不明ですが、大正一〇年ごろ

の創建と見られています。

石蔵の一番の特徴は、外壁に用いられている房州石の変化に富む石目です。井桁目と呼ばれる刷毛目を持つ石の中に、白い斑点のある桜目石が混在します。

この房州石は、千葉県鋸山近郊で採掘され、明治の末以降、石蔵用によく用いられたようですが、葉山での使用例は他に確認されていません。

県道に面した二階の開口部の両側は、半円柱の柱型になっていて、その上部には「丸の中に二本の横線」が描かれた日影茶屋の歴代当主、角田家の家紋をデザインした装飾が施されています。窓の扉は鉄製で、全体に重厚な



▲石蔵

●エピソード

三五〇年の長い歴史を持つ日影茶屋には、エピソードも数多くあります。中でも、その名を広く世間に広めたのが、大正五年に起きた「日影茶屋事件」でした。

同年十一月、日影茶屋に泊まっていた無政府主義者の大杉栄が、茶屋に押しつけてきた愛人の神近市子に刺されたのです。三角関係のもつれが原因のこの一件は、日影茶屋事件として世間の注目を集め、日影茶屋は一躍、有名になりました。

造りになっています。また、蔵の中には太くて頑丈な丸太の柱があり、天井をしっかりと支えています。現在、この石蔵は乾物類などを保管するための倉庫として使用されています。



▲客室棟



▲角田家の家紋

拷問を受け、非業の死をとげました。また明治以降、葉山は海浜にある別荘地として栄え、それに伴い、日影茶屋には多くの文人・名士も訪れました。明治の文豪・夏目漱石や昭和の映画界を代表する大スター・石原裕次郎なども、その一人です。

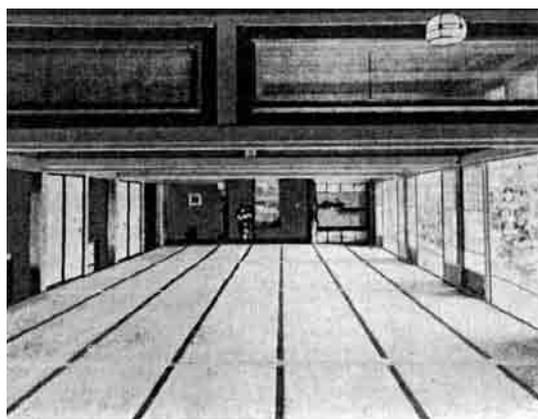
このほか、日影茶屋は川上眉山の「ふところ日記」をはじめ、久米正雄の「破船」、松岡譲の「憂うつな愛人」など、小説の舞台としてもよく使われ、最近ではサザンオールスターズの「鎌倉物

語」の歌詞の中にも、日影茶屋の名前が登場します。

(注) 国の登録有形文化財に登録された「客室棟」と「石蔵」の一般公開はしていません。



▲現在の大広間



▲昔の大広間

の公表

平成22年度下半期における予算の執行状況をお知らせします。(平成23年3月31日現在)
 問合せ 財政課☎内線321・322

広報はやま7月号

一般会計

一般会計歳入歳出予算は、90億9,050万円でスタートし、補正予算を加えた予算現額は96億5,515万1千円となっています。
 このうち歳入は、88億5,248万2千円を収入済みで、収入割合は91.7%です。
 歳出は、89.6%にあたる86億5,114万6千円を支出しました。

歳入

(単位：千円)

区分	予算現額	構成比(%)	収入済額	収入割合(%)
町税	5,577,179	57.8	5,505,127	98.7
地方譲与税	71,001	0.7	70,646	99.5
利子割交付金	20,000	0.2	21,293	106.5
配当割交付金	5,000	0.1	13,854	277.1
株式等譲渡所得割交付金	5,000	0.1	4,665	93.3
地方消費税交付金	220,000	2.3	226,865	103.1
ゴルフ場利用税交付金	24,000	0.2	20,872	87.0
自動車取得税交付金	40,000	0.4	33,648	84.1
地方特例交付金	71,116	0.7	71,116	100.0
地方交付税	350,940	3.6	338,386	96.4
交通安全対策特別交付金	5,500	0.1	5,072	92.2
分担金及び負担金	67,660	0.7	61,474	90.9
使用料及び手数料	191,862	2.0	178,909	93.2
国庫支出金	846,830	8.8	585,080	69.1
県支出金	660,439	6.8	392,470	59.4
財産収入	25,927	0.3	26,358	101.7
寄附金	41,220	0.4	41,323	100.2
繰入金	327,245	3.4	299,744	91.6
繰越金	478,283	5.0	478,284	100.0
諸収入	77,449	0.8	87,296	112.7
町債	548,500	5.7	390,000	71.1
合計	9,655,151	100.0	8,852,482	91.7

歳出

(単位：千円)

区分	予算現額	構成比(%)	支出済額	支出割合(%)
議会費	176,925	1.8	173,871	98.3
総務費	1,667,274	17.3	1,515,949	90.9
民生費	2,657,064	27.5	2,521,161	94.9
衛生費	1,329,152	13.8	1,183,649	89.1
農林水産業費	180,475	1.9	75,079	41.6
商工費	97,373	1.0	90,785	93.2
土木費	1,185,976	12.3	1,045,168	88.1
消防費	565,904	5.9	521,963	92.2
教育費	1,116,891	11.6	930,904	83.3
災害復旧費	800	0.0	0	0.0
公債費	598,837	6.2	591,447	98.8
諸支出金	1,171	0.0	1,170	99.9
予備費	77,309	0.8	0	0.0
合計	9,655,151	100.0	8,651,146	89.6

- ・税負担額 町民1人当り 165,475円
町民1世帯当り 395,938円
- ・予算額 町民1人当り 286,469円
町民1世帯当り 685,443円
人口 33,704人 世帯 14,086世帯
(平成23年3月31日現在 住民基本台帳)

特別会計

国民健康保険

国民健康保険特別会計歳入歳出予算は、35億6,082万8千円でスタートし、補正予算を加えた予算現額は37億19万7千円となっています。

歳入は、94.1%にあたる34億8,222万5千円を収入し、歳出は、89.6%にあたる33億1,394万6千円を支出しました。

歳入

(単位：千円)

区分	予算現額	構成比(%)	収入済額	収入割合(%)
国民健康保険料	1,050,388	28.4	967,764	92.1
使用料及び手数料	6	0.0	8	133.3
国庫支出金	668,366	18.1	662,071	99.1
療養給付費等交付金	105,922	2.9	96,679	91.3
前期高齢者交付金	926,859	25.0	850,321	91.7
県支出金	133,299	3.6	135,797	101.9
共同事業交付金	342,221	9.2	297,027	86.8
財産収入	42	0.0	40	95.2
繰入金	305,768	8.3	302,270	98.9
繰越金	166,850	4.5	166,851	100.0
諸収入	476	0.0	3,397	713.7
合計	3,700,197	100.0	3,482,225	94.1

歳出

(単位：千円)

区分	予算現額	構成比(%)	支出済額	支出割合(%)
総務費	58,120	1.6	55,251	95.1
保険給付費	2,444,664	66.1	2,213,159	90.5
後期高齢者支援金等	443,195	12.0	406,262	91.7
前期高齢者納付金等	805	0.0	696	86.5
老人保健拠出金	3,639	0.1	3,334	91.6
介護納付金	187,258	5.1	171,073	91.4
共同事業拠出金	381,602	10.3	295,304	77.4
保健事業費	25,436	0.7	21,911	86.1
基金積立金	140,042	3.8	140,040	100.0
公債費	83	0.0	0	0.0
諸支出金	7,983	0.2	6,916	86.6
予備費	7,370	0.2	0	0.0
合計	3,700,197	100.0	3,313,946	89.6

保険料負担額 1人当り 104,662円 1世帯当り 178,607円 被保険者 10,036人 被保険者世帯 5,881世帯
 予算額 1人当り 368,692円 1世帯当り 629,178円 (平成23年3月31日現在)

財政状況

後期高齢者医療

後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算は、6億9,522万5千円でスタートし、補正予算を加えた予算現額は7億3,210万7千円となっています。

歳入は、91.0%にあたる6億6,647万9千円を収入し、歳出は、88.0%にあたる6億4,439万円を支出しました。

歳入

(単位：千円)

区 分	予算現額	構成比 (%)	収入済額	収入割合 (%)
後期高齢者医療保険料	415,027	56.7	369,027	88.9
使用料及び手数料	1	0.0	2	200.0
繰入金	278,189	38.0	258,345	92.9
繰越金	38,218	5.2	38,219	100.0
諸収入	672	0.1	886	131.8
合 計	732,107	100.0	666,479	91.0

歳出

(単位：千円)

区 分	予算現額	構成比 (%)	支出済額	支出割合 (%)
総務費	11,886	1.6	11,244	94.6
後期高齢者医療 広域連合納付金	680,537	93.0	632,354	92.9
公債費	33	0.0	0	0.0
諸支出金	819	0.1	792	96.7
予備費	38,832	5.3	0	0.0
合 計	732,107	100.0	644,390	88.0

老人保健医療

老人保健医療特別会計歳入歳出予算は、550万8千円でスタートし、補正予算を加えた予算現額は1,789万3千円となっています。

歳入は、100.0%にあたる1,789万円を収入し、歳出は、100.0%にあたる1,789万円を支出しました。

なお、老人保健医療特別会計は、平成23年3月31日をもって廃止されました。

歳入

(単位：千円)

区 分	予算現額	構成比 (%)	収入済額	収入割合 (%)
支払基金交付金	31	0.2	29	93.5
国庫支出金	234	1.3	234	100.0
県支出金	1	0.0	0	0.0
繰越金	17,491	97.8	17,492	100.0
諸収入	136	0.8	135	99.3
合 計	17,893	100.0	17,890	100.0

歳出

(単位：千円)

区 分	予算現額	構成比 (%)	支出済額	支出割合 (%)
医療諸費	41	0.2	39	95.1
諸支出金	17,852	99.8	17,851	100.0
合 計	17,893	100.0	17,890	100.0

介護保険

介護保険特別会計歳入歳出予算は、22億9,058万2千円でスタートし、補正予算を加えた予算現額は23億1,406万4千円となっています。

歳入は、90.4%にあたる20億9,237万7千円を収入し、歳出は、86.2%にあたる19億9,485万5千円を支出しました。

歳入

(単位：千円)

区 分	予算現額	構成比 (%)	収入済額	収入割合 (%)
介護保険料	463,980	20.1	475,671	102.5
使用料及び手数料	10,466	0.5	8,537	81.6
国庫支出金	451,418	19.5	381,383	84.5
支払基金交付金	653,494	28.2	563,673	86.3
県支出金	333,706	14.4	308,917	92.6
財産収入	48	0.0	45	93.8
繰入金	366,002	15.8	319,008	87.2
繰越金	34,845	1.5	34,845	100.0
諸収入	105	0.0	298	283.8
合 計	2,314,064	100.0	2,092,377	90.4

歳出

(単位：千円)

区 分	予算現額	構成比 (%)	支出済額	支出割合 (%)
総務費	61,731	2.7	55,624	90.1
保険給付費	2,165,245	93.6	1,875,533	86.6
保健福祉事業費	100	0.0	0	0.0
地域支援事業費	47,696	2.0	39,645	83.1
基金積立金	20,048	0.9	20,046	100.0
公債費	83	0.0	0	0.0
諸支出金	4,532	0.2	4,007	88.4
予備費	14,629	0.6	0	0.0
合 計	2,314,064	100.0	1,994,855	86.2

下水道事業

下水道事業特別会計歳入歳出予算は、11億7,665万2千円でスタートし、補正予算を加えた予算現額は11億9,434万7千円となっています。

歳入は、95.4%にあたる11億3,967万5千円を収入し、歳出は、75.6%にあたる9億268万9千円を支出しました。

歳入

(単位：千円)

区分	予算現額	構成比(%)	収入済額	収入割合(%)
使用料及び手数料	224,618	18.8	181,088	80.6
国庫支出金	108,000	9.0	102,600	95.0
県支出金	7,260	0.6	0	0.0
繰入金	680,188	57.0	680,188	100.0
繰越金	49,479	4.1	49,479	100.0
諸収入	4,802	0.4	6,320	131.6
町債	120,000	10.0	120,000	100.0
合計	1,194,347	100.0	1,139,675	95.4

歳出

(単位：千円)

区分	予算現額	構成比(%)	支出済額	支出割合(%)
総務費	284,054	23.8	199,648	70.3
事業費	276,949	46.9	87,118	31.5
公債費	615,961	51.6	615,923	100.0
予備費	17,383	1.5	0	0.0
合計	1,194,347	123.8	902,689	75.6

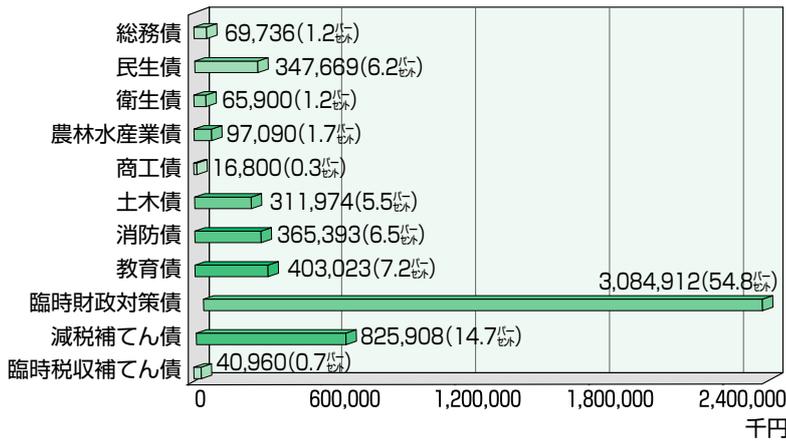
町債の現在高

(平成23年3月31日現在)

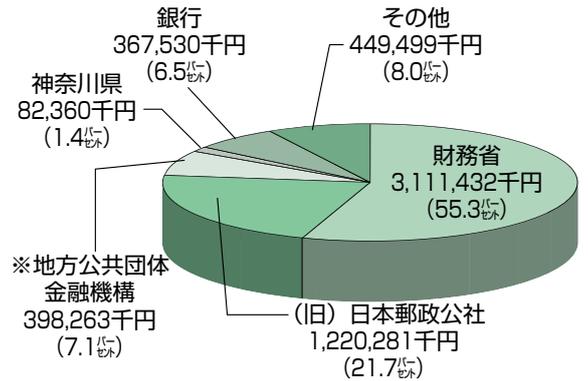
※ 地方公営等金融機構は、平成21年6月に地方公共団体金融機構に改組されたため地方公共団体金融機構として区分。

1 一般会計 計5,629,365千円

(1) 目的別内訳

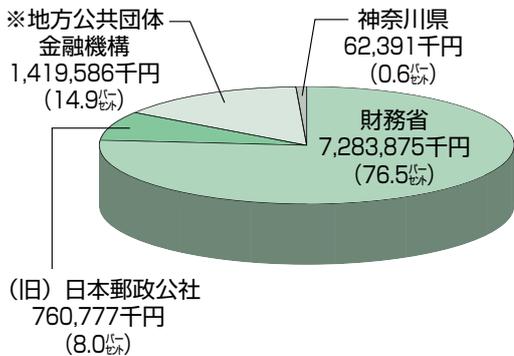


(2) 借入先別内訳



2 下水道事業特別会計 計9,526,629千円

借入先別内訳



町有財産の現在高

(平成23年3月31日現在)

種別	現在高	
公有財産	土地	1,095,278.36㎡
	建物	79,185.35㎡
	物権	105.75㎡
	有価証券	19,060,000円
	出資による権利	49,985,837円
基金	定額基金 基金	170,889,828円
	定額基金 土地	4,814.00㎡
	積立基金	1,478,655,789円